

2015年6月1日 発行 (VOL.142)

みんなの広場NEWS



〒182-0026 調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり 11 階
生涯学習交流推進課 TEL042-441-6112

ソーシャルダンスの「調布コスモス会」が4月2日～23日の間で「サークル体験」を行いました。応募・参加された方の感想文が寄せられましたのでご紹介します。

「ソーシャルダンス」というと、バレエもダンスも未経験の私にはハードルが高く、これまでは興味すら持てませんでした。けれど年々筋力が落ち、ちょっと気を抜くと背中が丸く立ち姿もダラけて、いっぺんに「おばさん化」してしまう自分にハッとしました。

今（50代半ば）から社交ダンスを始めておけば、来たるべき老後に少しでも「きれいなおばあさん」になれるかしら？と無料体験に参加させていただきました。

先生方はとても親切で、時には厳しく指導されることもありましたが、面白いこともおっしゃって場が和み、楽しい時間でした。既に練習にいらしていた先輩方も大変熱心で、ご自身のおけいこはもちろん、私達体験生にもアドバイスを下さり、有意義な1か月でした。ありがとうございました。これからも楽しく続けていきたいと思えます。（中川早苗さん）



ダンス体験レッスンに参加できた事に感謝します。初日に基本ステップの図解を頂き、とても安心しました。神澤先生の一生懸命教えて下さる熱意には続けようという気持ちになりました。60代半ばで一度は経験はしましたが、指導者に恵まれずに挫折をしました。

続けようと思った切っ掛けは、分け隔てなく指導している先生の姿がとても嬉しゅうございました。あの市報記事を見なかったら、こんなに浮き浮きした一か月を過ごす事ができなかったと思います。4月24日のミニダンスパーティもとても楽しく、壁の花にならずに多くの仲間の方と一緒に、踊れないながらも楽しめた事に改めて感謝です。木曜日に今後も参加させて頂きたいと思えます。70代最後の年ですが、残り少ない人生を元気に動いて医者に通う頻度を少なくしていくよう心がけます。一か月お世話になりました。5月からよろしくお願ひします。（清水妙子さん）

●キルトそめち「パッチワーク作品展」

みんなの広場で6月18日（木）から20日（土）まで展示します。今回の展示にあたり同サークルの石原礎智子さんからご寄稿いただきました。

「それでも作品展は開かれる～5人の後家さんと仲間たち～」

普通、サークル入会時に本人に聞くのは住所・氏名とマル秘扱いの、メンバー内のみ使用の電話番号くらいだが、うちの場合は老人特定の登録団体なので年齢も必要。聞き忘れたのか空欄の時は何度も聞くのも悪いと思って私が適当に書く。大抵外れない。

そんなことで、もれなく各々が加齢による諸事情を抱えている。最もつらいのが、本人が亡くなること、つれ合いを失うこと、本人やつれ合いの病気だろう。切実な現実を受取っての、前後の苦悩も察しがつく。

そんな中でも途切れなく会は動く。長期欠席の知らせをもらうと、看病、入院・手術とまず思う。お孫さんの誕生だと嬉しい。メンバーに秘して、いずれ本人から伝えられるのを待つ。必ずここに戻って来て！と祈りながら。

メンバーのリーダーで、みんなの長姉役をしていた世話好きのNさんが亡くなったのは前回の作品展直前。その一寸前にIさんがご主人を送っていた。それがずっと前の人も、最近の人も含めて5人の後家さんがいて、それでも作品展は開かれる。とりあえず今回も。

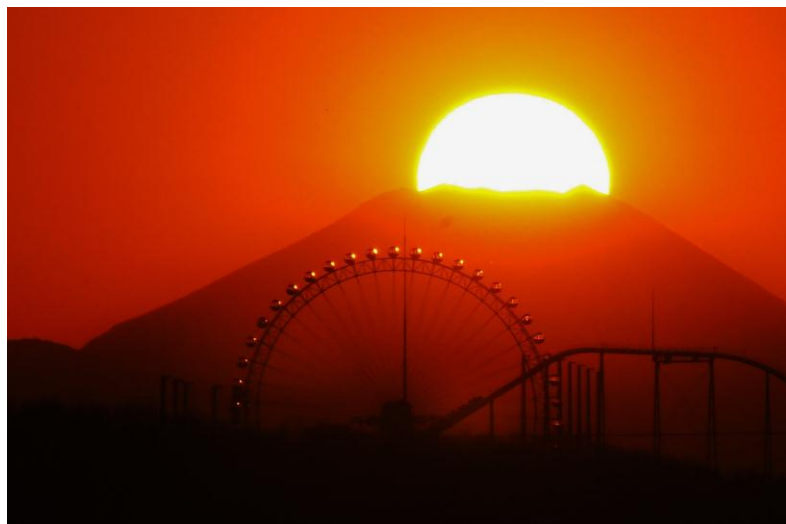


☆私の「この1枚」☆ 池田宣弼（写真同好会フォトCOSMOS）

下手な横好きのカメラを抱え、多摩川の自然を日々楽しんでいきます。特に、多摩川の夕景は行くたびに新しい感動を与えてくれます。

この写真は多摩川から見るダイヤモンド富士、富士山頂に夕日が沈む一瞬に出会った時のものです。毎年、そのチャンスを狙って多摩川に行くのですが、曇りの日が多くめったにはダイヤモンド富士に出会いません。

この日も日中は曇りで諦めかけていたところ、日が沈むころに雲が流れて、チャンス到来、ほんのわずかな瞬間に夢中でシャッターを切った時の一枚で、その時の感動は忘れられません。その出来はともかく、私にとっては貴重な一枚の写真です。



撮影場所：多摩川自然観察緑地の土手

撮影日：2012年2月4日16時56分56秒

「下手なりが 夢中にもなる ファインダー」